年間指導計画案 ――― 『美術3』
例1（教科書題材に沿った指導計画）１学期

学期	月	時間	題　　材	学 習 内 容	留意点
1	4 5 6	8	●美術作品と出会う 【B鑑賞】 【A 表現】 ●公共の場で作品に出会う 【B鑑賞】 【A 表現】 ※地域や学校の実態に応じて，上記二つの題材のどちらかを選択したり，関連付けて実施したりすることも考えられる。	○美術館を訪れ，自分が作品そのものから感じ取ることを大切にしながら，他の展示作品と関連付けながら見たり，作家や時代背景などの視点から見たりするなど，多角的なものの見方で鑑賞する。 ○鑑賞した作品が，日本・東洋・西洋・その他諸外国のどのような時代に，どのような意味・価値をもって表現されたのかなどについて調べ，鑑賞を深める。さらに，他の時代や地域の表現との関連や表現技法についてなどを調べ，イラストを描いたり写真をコラージュしたりするなどして鑑賞のリーフレットのかたちにあらわす。 ○その場所にあることによって風景がどのように感じられるかということや，作品のもつメッセージは何かなど，鑑賞の視点をもって見たり，友達と話し合ったりする。 ○実際に鑑賞したことやその作品について調べたことをもとにして，関連のある美術作品についても取り上げ，イラストを描いたり写真をコラージュしたりするなどして鑑賞のリーフレットのかたちにあらわす。	◇キャプションや音声ガイドなどの説明も鑑賞の手がかりになるが，作品と対峙して深く見ようとしたり，作品を介して友達と静かに語り合ったりするなかで鑑賞を深めていくことを大切にする。 ◇それぞれの作品が，美術の流れや世界の各地域のどこに位置付けられるかということを視覚的に理解できるよう，年表や地図を準備し，関連付けながら活動する。 ◇教科書 P.24～27 の「温故知新」のように，時代や地域を超えてテーマや表現方法などの関連を見いだすなど，多様な鑑賞の仕方をうながす。 ◇美術館に訪れることが困難な場合は，身近な公共の場所で出会うことができる作品について取り上げる。また，美術館を訪れて鑑賞したことから公共の場での作品の鑑賞につなげることも考えられる。 ◇必要に応じて，美術館のホームページや「文化遺産オンライン」など，インターネットの情報も活用する。 ◇教科書Ｐ.2～9，24～27 その他関連
	7	8	●文化遺産の保存と継承 【B鑑賞】 【A 表現】	○我が国や諸外国の世界遺産に登録されている建築物や遺跡や街，その他絵画・彫刻などを含む文化遺産の保存や継承にかかわる取り組みについて理解する。 ○文化遺産を一つ選び，詳しく調べる。 ○保存のための問題点や現在の取り組み，今後の課題と展望などについて，自分の考えを入れながら視覚的な効果も重視してポスターやリーフレットなどにまとめ，展示・発表する。	◇前題材や美術全体の流れ，各時代・地域の文化や生活などと関連付けながら，文化遺産の価値や意味，継承していく意義やそのための人々の努力などに思いを寄せられるようううながす。 ◇教科書Ｐ.10～13 その他関連
		8	●みんなをつなぐ優しさのデザイン 【B鑑賞】 【A 表現】	○教科書などの資料や身近な事例を通して，ユニバーサルデザインの考え方を理解する。 ○機能だけでなく，かたちや色の効果を生かして心地よさ・やさしさもデザインの要素として重視して，文房具や日用品，家具や乗り物，身近な環境などをデザインする。 ○作品は，絵や図・立体模型などであらわし，そのよさを伝えるキャッチコピーを考え，視覚的に訴える取扱説明書のかたちにまとめる。	◇実物の製品や映像で多様な事例を示すことによって発想をうながす。 ◇ユニバーサルデザインの基本的な考え方については，掲示しておくなど，制作過程において常に意識させるようにする。 ◇P.16～19，38 関連
	8	事前指導 (1)	●時代の精神を感じて 【B 鑑賞】 （夏季休業中の課題）	○夏季休業中に，展覧会や地域のイベントなどで，光や映像を造形素材とした作品など，現代の表現を鑑賞する。 ○次の題材で，「時代の精神を感じる」自分の表現をするために，材料や表現手段を選び，発想や構想をレポートにまとめる。	◇地域・学校の実態や必要に応じて，書籍やインターネットの情報も活用する。 ◇作品に込められたメッセージを共感的に鑑賞するとともに，作品がどう人々に造形的な効果を駆使してメッセージを伝えようとしているかなどについて意図的に見る。 ◇P.8，9，20，21 関連

2，3学期

学期	月	時間	題　　材	学 習 内 容	留意点
2	9 10	10	●時代の精神を感じて 【A表現】 ※自由制作	○夏季休業中の課題を踏まえ，今日の社会情勢や環境，そのなかで生きる人々の思いなどに思いをはせ，表現したいことを発想する。 ○発想したことを，これまでの造形経験を生かしながら材料や表現の方法を選んだり，映像や，光・風・水を含めた自然，建築や街並みを含めた身近な空間など，新たな材料やそれを生かした表現方法に挑戦したりして各自のテーマであらわす。 ○作品を通して，時代の精神を感じ取ったことをどう表現しようとしたか，絵や図も含めて文章にあらわしたり，効果的に発表し合ったりする。	◇夏季休業中の課題から，どのような表現に出会って，どのような考えをもったかなどを発表し合うことや，今日の時代について感じていることや考えを互いに出し合い，話し合うことを通して，発想をうながすようにする。 ◇これまでの造形経験や，教科書などの資料から，多様な表現があることに気付かせ，表現に生かすよううながす。 ◇P.20，21，その他多くのページが関連
	11	10 (2) (8)	●温故知新 人体の表現をめぐって 【B 鑑賞】 ●その一瞬の姿をとらえて 【A表現】	○古代から近代・現代の彫刻による表現を，その美しさだけでなく，時代を超えた表現の連続性や，その時代における創造性の観点からも鑑賞する。 ○日常のしぐさ，運動する姿など，一瞬の人体の動きの美しさ，やさしさ，力強さなどをクロッキーや人物デッサンであらわしたり，粘土の可塑性を生かして立体にあらわしたりする。	◇P.4～9『美術作品と出会う場』との関連を図りながら，彫刻表現における西洋・東洋・日本の美術の大きな流れを踏まえて鑑賞する視点も大切にする。 ◇鏡を見たり，友達とポーズを取り合ったりしながら，人体の美しさなどがあらわれる動きを見つける鑑賞活動の時間を十分確保する。 ◇P.4～9，24，25 関連
	12	6 (2) (4)	●大胆な日本の造形感覚 【B 鑑賞】 ●大胆な日本の造形感覚を生かした表現の提案 【A表現】	○日本の明快で大胆な造形感覚があらわれた美術品などを取り上げ鑑賞する。わび・さびなどの造形感覚や，他国の文化に見られる造形感覚と比較し，違いや共通点を発見しながら鑑賞する。 ○大胆な日本の造形感覚を生かして，衣食住にかかわることや，乗り物や建築など，生活に生きるデザインをする。	◇古代の文様や，歌舞伎の衣装，寛永の頃の小袖の意匠，琳派の絵画，田中一光のデザインなど，古代から現代までの美術表現のなかで鑑賞できるよう資料を準備する。 ◇P.28，29 関連
3	1	2	●祈りの場をつくる 【B 鑑賞】	○現代の祈りの場の建築・空間デザインについて，世界遺産などの過去の優れた建築・空間デザインと対比しながら鑑賞する。 ○祈りの場で象徴的な意味をもつ光をどう建築に取り入れるかなどといった構造上の観点や，場所がもつ雰囲気も含めて鑑賞する。	◇各宗教における表現の制限についての理解を事前に行う。 ◇P.10，11，36，37 関連
	2 3	18	●人をつなぐ空間をつくる 【B鑑賞】 【A表現】	○前の題材で取り上げた「祈りの場」や友達や身近な人が集まる場を選び，自分でデザインし，模型をつくる。 ○どのような考えでデザインし，つくり出したかということについて，一人一人の作品を通して発表し合うとともに，他の人の表現のよさや考え・思いを感じ取る。	◇人の心理状態・動線などを考慮して，デザインするよううながす。 ◇街の景観についての意識ももちながら，デザインしつくる。 ◇P.36，37，39 関連